

1 この科目の構成について

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位	2 単位
対象コース	全	コース	対象クラス	1 年	1～8 組
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造				
使用副教材	家庭基礎 自立・共生・創造 学習ノート				

2 この科目の学習目標・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

家庭生活に必要な知識や技術を身につけるだけでなく、社会の課題と暮らしを結び付けて考え、新たな価値観や行動を生み出すことを目標とします。また、地球環境や社会および経済について総合的に考え、持続可能な社会への課題と向き合い、家庭科で学んだ知識や技術を生かして、持続可能な社会を作る担い手となることを目標とします。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業ではプリントが配布します。口頭での説明も大切なことがありますので、メモをしましょう。現在の生活に役立つ知識を説明する場合もあります。

(2) 家庭

授業で得た知識を実生活で応用できるように、日頃から心掛けることが大切です。

3 この科目の評価規準と評価方法について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準 (内容の まとめ ごと)	第1章 生涯を見通す 様々な生き方があることを理解し、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 第2章 人生をつくる 青年期の課題を理解している。また、家庭の機能と家族関係について理解を深めている。家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 第3章 子どもと共に育つ 乳幼児期の心身の発達と生活及び親の役割と保育について理解している。 第4章 超高齢社会を共に生きる 高齢者を取り巻く社会環境や高齢期の心身の特徴について理解している。 第5章 共に生き、共に支える 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 第6章 食生活をつくる ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。 第7章 衣生活をつくる 被服の機能・被服材料・被服の管理について理解している。 第8章 住生活をつくる 安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。また、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 第9章 経済生活を営む 契約の重要性について理解している。また、消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解している。 第10章 持続可能な生活を営む 持続可能な消費について理解している。	第1章 生涯を見通す ライフスタイルと将来の家庭及び職業について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する。 第2章 人生をつくる 男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する。 第3章 子どもと共に育つ 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する。 第4章 超高齢社会を共に生きる 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する。 第5章 共に生き、共に支える 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する。 第6章 食生活をつくる 健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定して解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けている。 第7章 衣生活をつくる 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して課題を解決する力を身に付けている。 第8章 住生活をつくる 住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する。 第9章 経済生活を営む 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して課題を解決する力を身に付けている。 第10章 持続可能な生活を営む 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想する。	第1章 生涯を見通す よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第2章 人生をつくる よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第3章 子どもと共に育つ よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第4章 超高齢社会を共に生きる よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第5章 共に生き、共に支える よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第6章 食生活をつくる よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第7章 衣生活をつくる よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第8章 住生活をつくる よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第9章 経済生活を営む よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画および消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 第10章 持続可能な生活を営む よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
評価方法	①定期考査 ②エブロン製作	①定期考査 ②ワークシートの記入	①実習の態度 ②ワークシートの提出状況

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点		
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主
1	4	第1章 生涯を見通す 1. 人生を展望する 2. 目標をもって生きる	1. 各ライフステージの特徴と課題を理解します。 2. 青年期において、自立して生きるためにはこれから何が大切かを考えます。 1. 自分のライフスタイルについて考え、様々な生き方について考えます。 2. 社会制度としての家族や家族と法律について学びます。 3. 仕事と家庭の両立について考えます。	○	○	○
	5	道徳		○	○	○
	6	第2章 人生をつくる 1. 人生をつくる 2. 家族・家庭を見つめる 3. これからの家庭生活と社会		○	○	○
		第4章 超高齢社会を共に生きる 1. 超高齢・大衆長寿社会の到来 2. 高齢期の心身の特徴		○	○	○
		第2回考查		○	○	
	7	第5章 共に生き、共に支える 1. 私たちの生活と福祉 2. 社会保障の考え方 3. 共に生きる	1. 家族を支える福祉について理解します。 2. 国などの支援体制について理解します。 3. 多様性を発揮してともに豊かに暮らせる社会について考えます。	○	○	○
2	8	第7章 衣生活をつくる 1. 被服の役割を考える 2. 被服を入手する 3. 被服を管理する 4. 衣生活の文化と知恵 5. これからの衣生活	1. 衣服の多様な機能や特徴を理解します。 2. 被服の材料や性能などを理解します。 3. 被服の洗濯や保管方法を理解します。 4. 和服や世界の民族衣装を理解します。 5. 資源の消費の視点で、自分の衣生活を見直します。 ミシンの基本的な使い方を理解します。	○	○	○
	9	半完成品エプロンの製作		○	○	○

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点		
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主
2	10	第6章 食生活をつくる 1. 食生活の課題について考える 2. 食事と栄養・食品 3. 食品の選択と安全 4. 生涯の健康を見通した食事計画	1. 食生活の課題や食事の意義などについて考えます。 2. 栄養の種類や機能について理解します。 3. 食品の選び方や保存の仕方、食品の安全を確保する仕組みについて考えます。 4. 健康に良く栄養バランスの良い食事について考えます。	○	○	○
	11	5. 調理の基礎 (調理実習)	5. 調理の知識や技術を身につけます。 (調理実習)	○	○	○
		第4回考査		○	○	○
	12	6. これからの食生活  	6. 広い視野で食生活について考えます。	○	○	○
3	1	第8章 住生活をつくる 1. 住生活の変遷と住居の機能 2. 安全で快適な住生活の計画 3. 住生活の文化と知恵 4. これからの住生活 	1. 住居の機能やライフステージごとの住要求を知ります。 2. 快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件について考えます。 3. 気候や風土の違い時代の変化によって大きく異なる住文化について理解します。 4. 環境に配慮した住生活について理解します。	○	○	○
	2	第3章 子供と共に育つ 1. 命を育む 2. 子供の育つ力を知る 3. 子供と関わる 4. これからの保育環境  	1. 性と生殖に関する健康について学びます。 2. 子供の能力や心身の発達について理解します。 3. 子どもの生活習慣や衣食住について理解します。 4. 現代の子育て環境の変化や課題について理解します。	○	○	○
		第9章 経済生活を営む 1. 情報の収集・比較と意思決定 2. 購入・支払いのルールと方法 3. 消費者の権利と責任 4. 生涯の経済生活を見通す 	1. 現代の消費生活における意思決定の重要性和情報の活用について学びます。 2. 契約の重要性について学びます。 3. 消費者保護制度について理解します。 4. 金融資産のマネジメントについて知ります。	○	○	○
	3	第10章 持続可能な生活を営む 1. 持続可能な社会を目指して  	1. 持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫しよう。	○	○	○